

第 7 課

ヨハネの福音書 第 7 章

この課であなたが学ぶことは……

イエスと兄弟たち

仮庵の祭りにおけるイエス

イエスはメシヤか

イエスを捕らえようとする役人

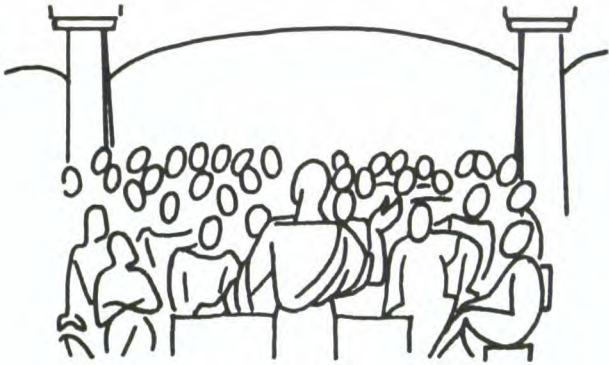
生ける水の川

群衆の分裂

指導者たちの不信仰

ヨハネの福音書 7：1～9 を読んで下さい。

この章は、種々な人々がイエスをどのように思ったかを記しています。ある人々はイエスを信じようとはせず、ある人々はイエスの教えと自分たちの教えに惑わされ、またある人々はイエスが彼らの悪い行いを指摘したのでイエスを憎みました。



この時点では、イエスの兄弟たちでさえイエスをメシヤとは信じてはいませんでした。彼らも後になって信じましたが、イエスに敵対していた多くの人々は、イエスの復活後に信じたのです。現在、福音に反対している人々も、私たちが彼らのために祈ることによって、やがてイエスを救い主として受け入れるかもしれないのです。イエスは弟子たちに敵を愛し、彼らのために祈るように教えました。

仮庵の祭りにおけるイエス

ヨハネの福音書7：10～24を読んで下さい。

この章の7節でイエスが危険であった様子が記されています。(1、13、19、25、30、32、44) 危険にもかかわらず、イエスはエルサレムの宗教的祭礼に行かれたのです。現代においても、イエスに従う多くの兄弟姉妹たちが危険に直面している国々があります。彼らがなお福音を語り続け、教え、証しのできるよう神が勇気を与えて下さるように祈りましょう。

イエスの教えに指導者たちは驚かされました。なぜなら、イエスが正規な学校に通って教育を受けていないことを知っていたからです。それはイエスの教えられた真理は神よりのものだったからです。

17節を読んで下さい。私たちが神のみこころに従いたいと願っているならば、神はその真理を示して下さいます。福音を受け入れない人々の持つ問題は、彼らが神に従うことを拒んでいるので真理を理解することができないことです。神の存在を信じなかった無神論者でさえ、心から「神よ、もしあなたがおられるなら私に示して下さい。私が真理を知ることができるなら従います」と祈って彼は神に出会うことができたのです。



自習のために

- 1 福音を拒んでいる人をあなたは知っていますか。
_____ 彼らのために祈って下さい。
- 2 あなたの兄弟姉妹はみなイエスを信じていますか。
_____ 彼らのために祈って下さい。

ある一部の人は、イエスが安息日に病人をいやしたことについて文句を言っていました。律法の中に少し矛盾するものがありますが、イエスはそのようなときには最も大切な律法を重視するよう教えられました。例をあげると、安息日には何もしてはいけない、という律法があります。しかし、男の子は生まれて八日目には割礼を施さ

なければならないという律法もあります。すると八日目が安息日にあたる場合は、人々は安息日を守ることも、割礼を施すという律法に従いました。そこでイエスは、そのように安息日が破られるのであれば、病人をいやすという親切な行為は安息日の律法を守ること以上に大切なことであると教えられたのです。



自習のために

- 3 なぜイエスの教えは偉大だったのでしょうか。
 - 1) 高等教育を受けていたから
 - 2) 祭司やパリサイ人が彼の教師だったので。
 - 3) 神より与えられた教えだったので。

- 4 まだ救いを受けていない友人に、神が働きかけ彼らが罪から離れ、福音の真理を悟るように祈って下さい。

- 5 イエスに従うために危険な状況にある兄弟姉妹のため祈って下さい。

イエスはメシヤか

ヨハネの福音書7：25～31を読んで下さい。

宗教家たちが密かにイエスを殺そうとしていることを知っていた人々は、イエスが公然と神殿で教えているのを見て驚きました。しかし、神によって定められたイエスの死ぬべき時が来ていなかった

ので、彼らはイエスを殺すことはできませんでした。イエスは神が自分を遣わし、その業が完了するまで助けられることを知っておられたので、その時の来るまで宮で教えられたのです。神のみこころを行なう力がイエスに与えられていましたので、多くの人々が彼を信じ罪より救われたのです。



自習のために

6 指導者や宗教家はイエスに何をしようとしましたか。

7 だれがイエスを遣わしましたか。

8 神のみこころを行なうことは容易なことですか。

9 だれがあなたの必要を満たしてくれますか。

イエスを捕らえようとする役人

ヨハネの福音書7：32～36を読んでください。

群衆の多くがイエスを信じているという事実は、イエスに反感を抱いているパリサイ人たちを更にかたくなにさせました。イエスは彼らが自分を捕らえて殺そうと計っていることはすでに知っておられました。なぜなら、私たちの罪の代価として死ぬために世に来られたのです。イエスは彼らにご自分のもとには来ることはできない



ことを話されました。それはイエスのみ業が完了し、父のみもとに帰ることを暗示したのです。そしてイエスを信じる者たちも、やがて天国に移されるというのです。



自習のために

- 10 イエスに敵対する者のいたことをどのようにして知りますか。
- 1) 司祭長たちが彼を殺そうとしていた。
 - 2) ローマの統治者が彼を捕らえようとしていた。
 - 3) 群衆が全員、彼を殺そうとしていた。

生ける水の川

ヨハネの福音書7：37～39を読んで下さい。

イエスは言われました。「だれでも渴いているなら、わたしのもとに来て飲みなさい」と、すでに学びましたが、イエスは救いをいの

ちの水にたとえているのです。しかし、39節では、水が、救われて信徒となった者に与えられる聖霊についていわれていることを明確にしています。人が罪より救われた後に、聖霊に満たされることを願わなければなりません。使徒の働きでは、人々がイエスを救い主として受け入れた後に、聖霊によって満たされたと記しています。



自習のために

- 11 「だれでも渴いているなら、わたしのもとにきて飲みなさい」とイエスの言われたのは何を意味しましたか。
- 1) いのちの水といった救い。
 - 2) 救われた後に、信徒の受ける聖霊。
 - 3) ヨルダン川の水。

群衆の分裂

ヨハネの福音書7：40～44を読んで下さい。

今日、人々がイエスについて種々な意見を持っているように、当時の人々もイエスにさまざまな関心を持っていました。イエスは神の遣わされた預言者、メシヤ、神の御子であるという考えを持った人々は正しいのです。

イエスはガリラヤ地方に住んでおられましたが、生まれたのはベツレムの町でした。ルカとマタイは、それぞれの福音書でイエスの系図をのせ、イエスがダビデの子孫であることを証明しています。イ

イエスは旧約聖書に記されているメシヤの預言を成就されたのでした。



自習のために

12 群衆はメシヤの出生地はどこだと言いましたか。

13 イエスの出生地はどこでしたか。

14 イエスはダビデの子孫でしたか。

指導者たちの不信仰

ヨハネの福音書7：45～52を読んで下さい。

パリサイ人たちは、イエスを捕らえようと思ひ役人を遣わしましたが、役人の一人は、「あの人と話すように話した人は、いまだかつてありません」と言いましたが、イエスのように語ることでできなかったのは、イエスは神によって語っておられたからです。私たちは、イエスの教えを学び、それをすべてのものに勝るものとしなければなりません。



自習のために

15 役人の一人はイエスについてどのように証言しましたか。

か。

- 1) あの人が話すように話した人は、いまだかつてありません。
- 2) ガリラヤから預言者は出ないだろう。
- 3) この人は学問を正規に学んでいないのに、このように人々に教えられるのか。



正 解

- 10 1) 司祭長たちが彼を殺そうとした。
3 3) 彼の教えは神よりきたから。
11 2) 救われた後に信徒が受ける聖霊。
6 彼を殺そうとした。
12 ベツレヘム。
7 神
13 ベツレヘム
8 いいえ。
14 はい。
9 神。
15 1) あ的那个人が話すように話した人は、いまだかつてありません。